

郡山市技能功労者調書

職業部門 及び職種		職業部門	職種（1）		職種（2）	
ふりがな				生年月日	年 月 日	
氏 名				年 齢	歳（令和3年 11 月 1 日現在）	
本 籍						
現住所		〒				
自宅電話番号				携帯電話番号		
勤 務 先	事業所名				従業員数	
	所在地	〒				
	役 職			電話番号		
職 歴	勤 務 先		勤務期間		勤務年月数	
	〇〇株式会社		S45 年4月 1 日～S50 年6月 30 日		5年3月	
	株式会社〇〇工業		S50 年7月 1 日～H7年3月 31 日		19年 9 月	
	有限会社〇〇〇〇		H7年4月 1 日～令和3年 11 月 1 日		26年 7 月	
	勤務年月数合計				51年7月	
表 彰 歴	公 職 ・ 団 体 暦		在職期間		備 考	
	〇〇組合 組合長		H〇年〇月～H〇年〇月		3期	
	△△組合 理事		H〇年〇月～現在			
表 彰 歴	表 彰 等		受賞年月	免許資格等	取得年月	
	第〇回技能グランプリ全国大会入賞		H〇年〇月		〇〇1級技能士	
	□□協会△△表彰 （〇〇の技能について表彰）		H〇年〇月		職業訓練指導員免許（□科）	
	□□連合会感謝状 （県代表として出展した功績）		H〇年〇月		H〇年〇月	

技能及び功績の概要	1. 技能の概要 ××業に長年従事して培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 (1) 日本伝統の〇〇工法での技術 日本伝統の〇〇工法で優れた技能を有し、県内はもとより、全国随一の技能を有し、第〇回技能グランプリにおいて優秀な成績を収めている。 (優れていることが客観的に分かる写真などを添付する。) (2) 〇〇技術の改善 ×に関する作業は、従来〇〇工法が主流であったが、この工法の〇〇という作業を××に改善した独自の工法を採用することにより、これまで2時間かかっていた作業を1時間に短縮させた。 改良された××工法は、業界から注目され、この工法が業界内で主流となるほど、〇〇技術発展の先駆者と言える。 (業界団体等の新聞や冊子、ウェブサイト等で紹介されるなど、工法を広く周知した場合は、その資料等を添付する。) (3) 伝統の技術を継承 〇〇の製作においては、近年、機械化が主流となっているが、氏は、機械を使用せず、手作業で製作している。この伝統の技術を有する技能者は全国に〇名しかいない。
	2. 勤務成績、日常行為等において他の技能者の模範と認められる姿勢等 就業時間〇時間 管理部長として現場管理をする傍ら、後進の技術指導に従事している。また、後進の意気軒高な精神が養われるような職場づくりを図っている。 〇〇会長として、組織運営に積極的に携わり若い会員の模範として常に技術の伝承と技能の研鑽に努めている。 勤務事業所のボランティア活動に率先して参加するほか、地域活動において日本の伝統技能を小中学校で特別授業するなど、その模範性は、後進はもとより業界内外からも高い評価を受けている。 氏の経営する事業所では、外国人留学生の採用や技能実習生の受け入れなどを行っており、技能者育成のほか、生活支援等のサポートも行っている。 (ボランティア活動や地域活動の様子がわかる写真等を添付してください。)
	3. 後進の技能指導・技能者の育成の概要 (1) 〇〇技術の検定員を〇年務め、業界の発展に大きく貢献している。 (2) 定期的に〇〇組合員に対して、□□技についての技能講習を開催し、後進の指導育成に努めている。 (3) 技能検定補佐員として〇〇年にわたり尽力し、〇〇年からは検定委員として、技能検定の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。 (4) 中堅・若手技能者の育成を図る上でその核となる監督者層のスキルを向上させるべく積極的に職業訓練指導員を育成し、〇〇名を合格させた。 (後進の指導している写真等を添付してください。)
要	4. その他（候補者についての補足事項） ※技能に伴う資格制度、技能大会等がない業種の場合は、その旨をお書きください。 ※その他1～3に当てはまらない技能及び概要等があればお書きください。